

今月のトピックス

- ヘルパンギーナの流行警報が発令されています。
- RS ウイルス感染症が例年より早く増加傾向となっています。
- 流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎の報告が例年より多い状態が続いています。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。

全数把握の対象

【8 月期に報告された全数把握疾患】

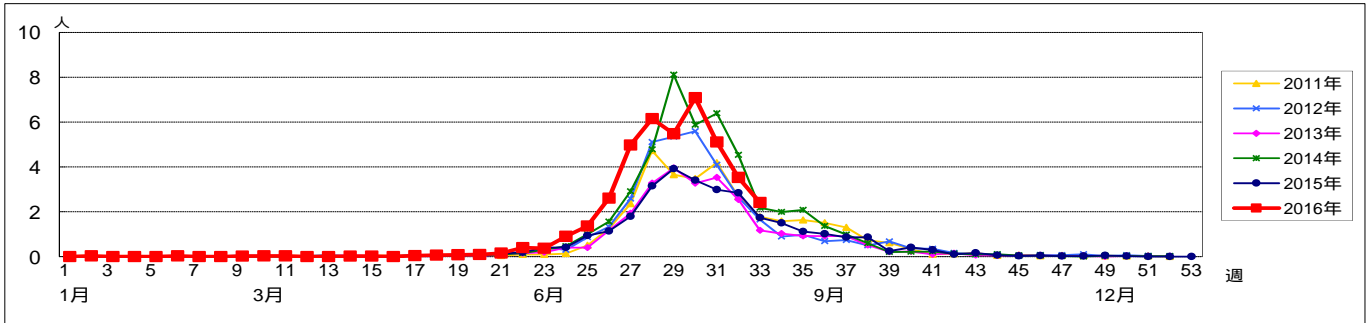
細菌性赤痢	1 件	急性脳炎	2 件
腸管出血性大腸菌感染症	22 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 件
E 型肝炎	3 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症含む)	5 件
レジオネラ症	5 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 件
アメーバ赤痢	6 件	侵襲性肺炎球菌感染症	4 件
ウイルス性肝炎 (E 型および A 型を除く)	1 件	梅毒	10 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5 件		

- 1 細菌性赤痢:1 件の報告があり、ミャンマーでの経口感染が推定されています。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:22 件の報告のうち (5 件は無症状病原体保有者)、O157 が 20 件、O145 と O26 が 1 件ずつで、家族内発生事例も報告されています。2 次感染予防には手洗いが重要です。さらに、下痢症状のある人は専用のタオルを使うなど、他の人と使うタオルを別にしましょう。トイレは常に清潔に掃除し、ドアノブ・水洗レバー・電気のスイッチなど手の触れるところは、特に念入りにきれいにしましょう。
- 3 E 型肝炎:3 件の報告があり、2 件が経口感染と推定され、1 件は感染経路等不明でした。
- 4 レジオネラ症:5 件の肺炎型の報告があり、いずれも感染経路等不明でした。
- 5 アメーバ赤痢:6 件の報告があり、1 件は国内の詳細不明の性的接触、2 件が国内での経口感染、2 件がタイでの経口感染が推定され、1 件は感染経路等不明でした。
- 6 ウイルス性肝炎 (E 型および A 型を除く):C 型の報告が 1 件あり、感染経路等不明でした。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:5 件の報告があり、うち 2 件は医療器具等関連感染、2 件は以前の保菌と推定され、1 件は感染経路等不明でした。
- 8 急性脳炎:2 件の乳幼児の報告がありました。いずれも病原体不明です。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:G 群が 1 件報告され、創傷感染が推定されています。
- 10 後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む):5 件の報告があり、うち 1 件が AIDS、3 件が無症状病原体保有者、その他が 1 件でした。感染経路は、同性間の性的接触が 2 件、異性間の性的接触が 2 件、感染経路等不明が 1 件でした。
- 11 侵襲性インフルエンザ菌感染症:1 件の報告があり、ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 12 侵襲性肺炎球菌感染症:4 件の報告があり、うち 1 件はワクチン接種歴が確認されましたが、3 件についてワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 13 梅毒:10 件の報告 (無症状病原体保有者 3 件、早期顕症梅毒 期 2 件、早期顕症梅毒 期 5 件)があり、いずれも国内の性的接触でした。同性間が 1 件、異性間が 8 件、詳細不明が 1 件でした。

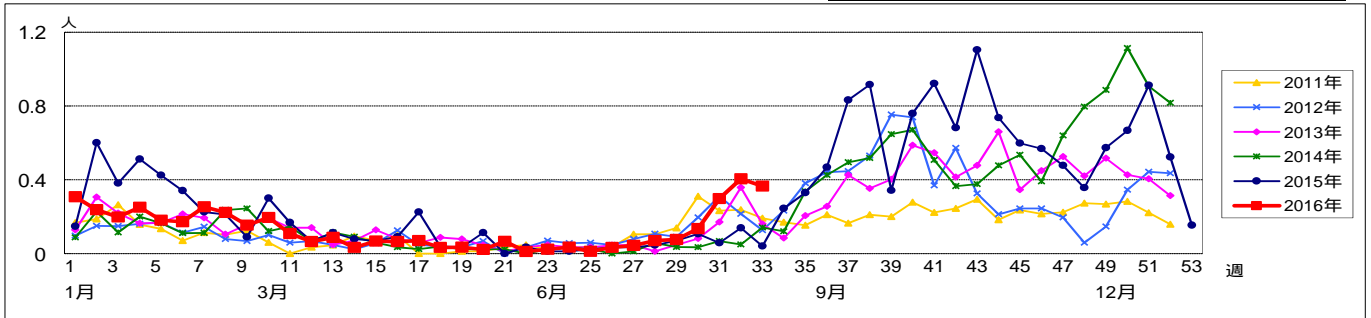
定点把握の対象

平成 28 年 週 - 月日対照表	
第 30 週	7 月 25 日 ~ 31 日
第 31 週	8 月 1 日 ~ 7 日
第 32 週	8 月 8 日 ~ 14 日
第 33 週	8 月 15 日 ~ 21 日

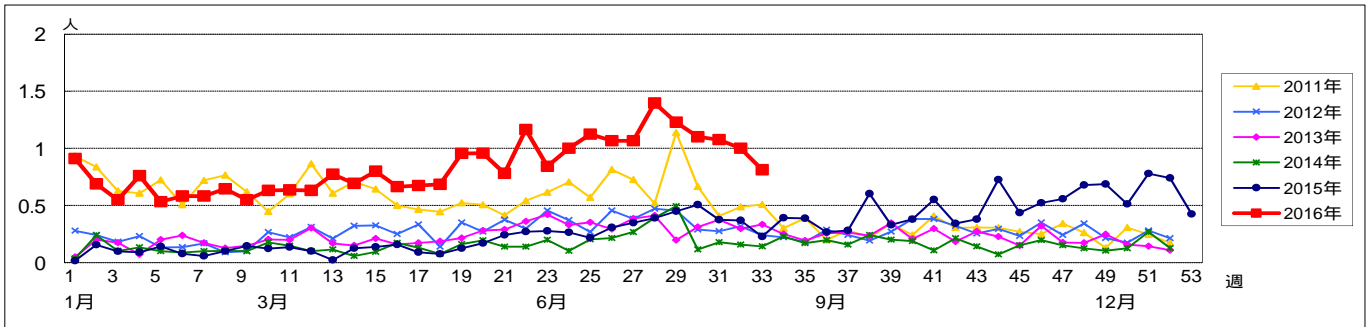
- 1 **ヘルパンギーナ**: 第 28 週にて市全体で定点あたり 6.15 となり、流行警報発令基準値(6.00)を上回りました。第 30 週に 7.08 となって以降は減少し、第 33 週は 2.41 となっています(警報終息基準値は 2.00)。



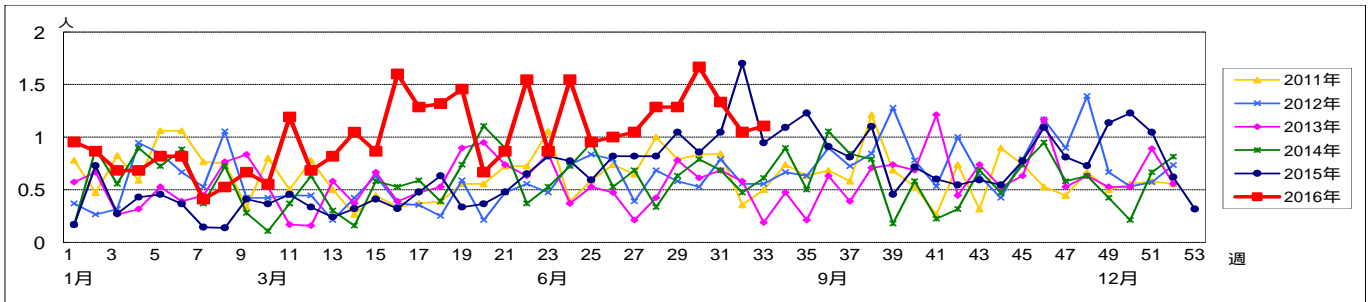
- 2 **RSウイルス感染症**: 第 31 週で定点あたり 0.30、第 32 週で 0.40 と例年に比べて早く増加傾向となっています。



- 3 **流行性耳下腺炎**: 第 33 週で定点あたり 0.81 と、例年に比べて報告が多い状態が依然として続いています。



- 4 **流行性角結膜炎**: 第 33 週で定点あたり 1.11 と、例年に比べて報告が多い状態が続いています。



- 5 **性感染症**: 7 月は、性器クラミジア感染症は男性が 20 件、女性が 17 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 3 件、女性が 9 件です。尖圭コンジローマは男性 10 件、女性が 3 件でした。淋菌感染症は男性が 18 件、女性が 1 件でした。
- 6 **基幹定点週報**: 無菌性髄膜炎は第 30 週 0.00、第 31 週 0.00、第 32 週 0.00、第 33 週 0.33 と報告されています。マイコプラズマ肺炎は第 30 週 0.33、第 31 週 1.67、第 32 週 0.00、第 33 週 0.33 と報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)、細菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 7 **基幹定点月報**: 7 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 3 件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>